

平成26年10月26日  
今週のベストショット



雁レク軟式9 新町パイレーツ 対 三苦三球会戦  
一回表、先取点への足掛かりの送りバントを決めるパイレーツ二番八坂選手。  
写真：雁ノ巣ライナーズ 今林貢

青松園B 奈多サンデーズ11安打で快勝!

三友クラブ (4勝8敗1分) 0 1 1 0 0 0 0 2 ●福山ー広瀬  
奈多サンデーズ (11勝1敗1分) 5 0 1 1 0 1 X 8 ○塚本ー田中 (俊)

HR: 野々下、長浜 (奈多サ) 3BH: 田中 (俊) (奈多サ) 2BH: 松尾 (三友ク)

盗塁長浜、木下、野々下 (奈多サ)

一回表奈多サンデーズ塚本投手はランナーを一人出すもダブルプレーで打者を三人で打ち取りチームに流れを引き寄せると、その裏一死満塁からサンデーズ五番塚本、六番鳥羽、七番宮口選手の連続タイムリーヒットで一挙5点のビックイニングとした。三友クラブも二回表に負けじと四番松尾選手から坂本、広瀬、大坪選手と連打が出たが1点しか奪えず、三回もヒットが3本出たが1点止まりでなかなか流れに乗れない。するとサンデーズ四番野々下選手が三回裏にセンターオーバーのソロHR、四回裏にタイムリーヒットを放つと、六回裏には一番長浜選手にダメ押しのソロHRが飛び出し試合が決まった。(記事: 新町ウインズ 桐島司、写真: 城戸和裕)



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



三友クラブ先発の福山投手。



痛そうなデッドボール・・・サンデーズ野々下選手。



一回裏、ライト前のクリーンヒットを放つ鳥羽選手。



間一髪！三友クラブ広瀬選手が必死のスライディングでライト前ヒット。



三回表、つまりながらもしぶとくレフト前を放つ三友クラブ一番竹岡選手。



豪快に中越えHRを放つサンデーズ四番野々下選手。



絶妙なセーフティーバント！サンデーズ木下選手。



必至にタッチもホームイン、三友クラブ広瀬捕手。



狭殺プレーでアウトになったサンデーズ田中孝幹選手兼監督。



ダメ押しの中越えソロHRを放ったサンデーズ長浜選手。



試合終了あいさつ、お疲れ様でした！

### 青松園A やはり最後はこの人！代打俺！ by 水流（つる）

塩浜ジャガーズ（5勝 8敗）3 1 0 3 3 1 0 立石○ー橋村

ソルトベスターズ（3勝 10敗）0 1 0 1 0 2 鶴野●ー酒井

HR：立石（塩浜ジ）鶴野（ソルト） 2BH：水流（ジャガーズ）

1つでも上に行きたい両チームの先発は、投手としても勝利を呼び込むジャガーズ立石投手と、技巧派のソルトベスターズ鶴野投手の投げ合いで試合開始。一回表ジャガーズは、一番竹尾選手が四球を選び、続く打撃絶好調の稲富選手が投手前バントヒットで続き、一死後打撃センスも抜群の四番立石選手が右中間へ3ランHRで初回から先制パンチ。一回裏ソルトベスターズは、一番坂本選手がセンター前ヒットで出塁、続く八柄選手の送りバントでランナー二塁とするが、三番、四番と打ち取られ得点ならず。二回表ジャガーズは、三番内田選手のセンター前タイムリーにて追加点。一方のソルトベスターズは、先頭打者の鶴野投手がこちらも打撃センスを活かし右中間へHRを放ち反撃の狼煙を上げる。しかし、後続が連続三振にて追加点ならず。迎えた四回表、ジャガーズはクリーンナップで3点を追加し、一気に押し寄せムードとなった。流れを変えたいソルトベスターズは、四回裏六番酒井捕手がレフト前ヒットにて出塁、ワイルドピッチと内野ゴロの間に三塁へ。ここで九番森選手が好調立石投手からレフト前へ落とし2点目が入る。そして迎えた最終五回表、最近監督業として出番を控えている水流選手が“代打俺”にて自ら登場！最終試合にて打率を3割に乘せる右中間二塁打で試合を決定づけた！！終わってみると、ジャガーズ11安打、ソルトベスターズ5安打であったが、チャンスを卒なく得点に結びつけたジャガーズ打線が光った試合だった。（記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真：井手翔一郎）



最終戦の開始挨拶。



一回表、先制の3ランHR！ジャガーズ四番立石選手！



一回裏、投手としても好調の立石選手！



二回裏、負けじとこちらもHRを放つ鶴野投手！



四回裏、レフト前ヒットにて笑顔のソルト森選手！



五回表、「代打俺！」で打席に立つジャガーズ水流監督！



本日のヒーロー：最後の締めくくりはやはりこの人！水流監督！

## 雁レク軟式9 10安打10得点のパイレーツが三球会に快勝！

新町パイレーツ（6勝5敗2分）102304 10 牟田○ー小黑

三苫三球会（6勝6敗0分）000120 3 吉留●、原口、大津ー藤澤、山崎

HR：小黑（新町パ）2BH：牟田、桐島（新町パ）、塚（達）、浜口（三球会）盗塁：桐島（新町パ）

新町パイレーツは初回、一番小黑選手がセンター前で出塁すると続く二番八坂選手が送りバントを決め、その間に小黑選手の好走塁で三塁を陥れる。続く三番の白岩（将）選手は四球を選びチャンスを広げると、四番桐島選手のショート内野安打で先制。パイレーツは三回表にも五番牟田選手の適時二塁打などで2点を追加し、四回表にも一番小黑選手の3ランHRが飛び出す。一方、三球会は四回裏先頭の三番浜口選手がライトへ二塁打を放つと五番塚和彦選手の右前適時打で1点を返す。五回裏には二死満塁のチャンスを作ると、押し出し四球、六番右山選手のレフトへの適時打で2点を返すも反撃はここまで。三球会は六回表にエラーやWPなどで4点を失い、パイレーツにとってはこれがダメ押しとなった。（記事：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭 写真：今林 貢）



一回表、送りバントを決めるパイレーツ八坂選手。



三球会打線を3失点と好投したパイレーツ先発の牟田投手。



二回裏、二塁打を放った三球会塚達也選手。



三球会先発の吉留投手。



三球会二番手の原口投手。



四回表、ホームへ突入するパイレーツ中島選手。



四回裏、ホームを踏む三球会浜口選手。



五回裏、満塁のピンチにパイレーツ田中監督が駆け寄る。



三球会三番手の大津投手。



9点目のホームを踏むパイレーツ白岩（将）選手。



華麗にゴロを処理するパイレーツ桐島選手。  
この日は再三の好プレーが光った。

雁レクE 奈多フェニックス 対 三苦ホーネッツ戦は、三苦ホーネッツの不戦勝です。

## 第24週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第24週、10月26日は3試合が行われました。

奈多フェニックス対三苦ホーネッツ戦は、奈多フェニックスの不戦敗です。

青松園Bの三友クラブ対奈多サンデーズ戦は、ホーネッツが不戦勝となったため、優勝へは勝利が絶対条件となった奈多サンデーズ打線が初回から5点を奪い、早々に試合を決した。プレッシャーのかかるこの大事な一戦に三友クラブはエース不在というのもサンデーズには追い風となった。11安打8得点のサンデーズに対し、塚本投手から10安打を放った三友クラブ打線だったが、2得点と点の取り方に差が出た試合だった。来季はこの点を改善して上位を狙ってほしい。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対ソルトベイズスターズ戦は、一回表にジャガーズ四番立石選手の3ランで幕を開けると、その後も攻撃の手を休めないジャガーズが13安打10得点。投げては立石投手がHR1本打たれるものの、ソルトベイズスターズ打線を5安打2失点の完投で10-2の勝利。最後の水流監督スマイルはいいですね。今季のジャガーズは、打率.450以上が4人いるという打撃が好調でした。投手力もあるので、来季は今年出来なかった勝率5割以上を期待します。ソルトベイズスターズも3勝止まりというチームではないと思うので、もっとチーム全体で声を掛け合って、自分たちから盛り上がって欲しいと思います。

雁レク軟式9の新町パイレーツ対三苦三球会戦は、パイレーツが初回から1点を先制すると、四回表に小黒選手の3ランなどで大量6点をリード。三球会も何とか3点を返すも、最終六回表にエラーと四球で溜めたランナーを四番桐島選手のバットでとどめを刺された。エース不在のパイレーツは代役の牟田投手の好投もあり、今季の勝ち越しを決めた。共に6勝だった両チームの来季上位進出を期待したい。

三苦ホーネッツの不戦勝と奈多サンデーズの勝利で共に11勝1敗1分となり、プレーオフが決定。プレーオフの日程は追って報告します。

首位打者争いは、打率3位のジャガーズ内田選手が3打数2安打で.571まで上げたが1歩届かず、11月2日のレッドサンデーズ対三苦フレンズ戦のレッド江口選手の成績如何(いかん)に懸ってきました。江口選手が2打数2安打、3打数3安打、4打数4安打なら逆転。4打数3安打なら同率、3打数2安打では届きません。三友クラブ柿崎選手が逃げ切るのか？レッド江口選手が逆転でタイトルを手にするのか？

最多勝争いは、9勝目を挙げた奈多サンデーズ塚本投手は決定。8勝でレッド江口投手と奈多クラブ今林瑠生投手が最終戦に懸けます。

プロ野球の日本シリーズは、福岡ソフトバンクホークスが阪神タイガーズを4勝1敗で下し、3年ぶりの栄冠を掴みました。

幕切れは、九回裏一死満塁から阪神西岡選手のファーストゴロでホームゲッターを狙ったホークス細川捕手の一塁送球が西岡選手の手当たり、ボールが転々としている間に二塁走者が返り、土壇場で同点かと思われましたが、西岡選手の走塁が守備妨害をとられ、過去に類を見ない幕引きとなりました。

難しい判定で、阪神ファンの怒る気持ちも分かりますが、判定は覆りませんでした。

ホークス選手が優勝でドッと押し寄せ、ファンも大盛り上がりで判定を覆えさせる雰囲気にもさせなかったという見方も出来ませんが、何ともしこりの残る終わり方。

西岡選手は自身の facebook で明かしていますが、何とか体にボールが当たってくれと、そういう走り方をしたそうです。気持ちは分かりますよね。

WSL だったら、あの場面で守備妨害を取れるでしょうか？日本中のジャッジに一石を投じるプレーだったと思います。

この日本シリーズは、4勝1敗でホークス圧勝のように思えますが、私はホークスには後がなかったと思います。

何が？

引退を表明した秋山監督を福岡ヤフオクドームで胴上げすることが。

なので、甲子園での第一戦を落としたホークスナインには二戦目以降の四戦を全勝するしかなかったのです。

監督の花道を飾るためにも背水の陣で臨んだホークス選手たち。

秋山監督たち首脳陣の頭には甲子園での第六、七戦のことはあったと思いますが、選手の中にはヤフオクドームで胴上げすることしかなかったと思います（第六、七戦の先発投手は別ですが）。

その期待に見事応えたホークス選手たち。

まさに「奇跡！」

いや強い気持ちの積み重ね、「氣積！！」だと思います。

WSL も二連覇を狙う奈多サンデーズと平成18年以来二度目の優勝を狙う三苦ホーネッツのプレーオフが決定しました。

平成21年には両チームがプレーオフの末、奈多サンデーズが優勝しています。

さあ、平成26年度WSLの集大成として、残り試合がある人も、残り審判・編集がある人も皆さん顔晴って下さい！

私も顔晴ります。